

平成29年度 私立短期大学 教務担当者研修会
大阪ガーデンパレス<平成29年10月26日(木)>

松本大学松商短期大学部の教学改革 —これまでの教育改革とAP事業の位置づけ—

<コンテンツ>

- (1) 教学改革の背景
- (2) 1990年代以降の教学改革
- (3) 教学改革におけるAP事業の位置づけ

松本大学松商短期大学部
糸井重夫

2017/10/26

1

(1) 教学改革の背景

1. 高等教育のユニバーサル化とキャリア教育
2. 先進国経済への移行と社会の変化
3. 経済のグローバル化と多文化共生社会

<キーワード>

ユニバーサル・アクセス、研究から教育へ、「就業力」育成、
知識基盤社会、21世紀型市民、キャリア教育、企業の寿命、
「就社」から「就職」へ、労働生産性、労働参加率、
労働力の質、国際競争、少子高齢化、多文化共生社会、

2017/10/26

2

1. 高等教育改革の背景

＜ユニバーサル段階の高等教育＞（米国社会学者マーチン・トロウ）

- * 高等教育進学率15%以下 → 「エリート段階」
- * 高等教育進学率15～50% → 「マス段階」
- * 高等教育進学率50%以上 → 「ユニバーサル段階」

→ 大学入学試験が高等学校教育の質を担保しない時代

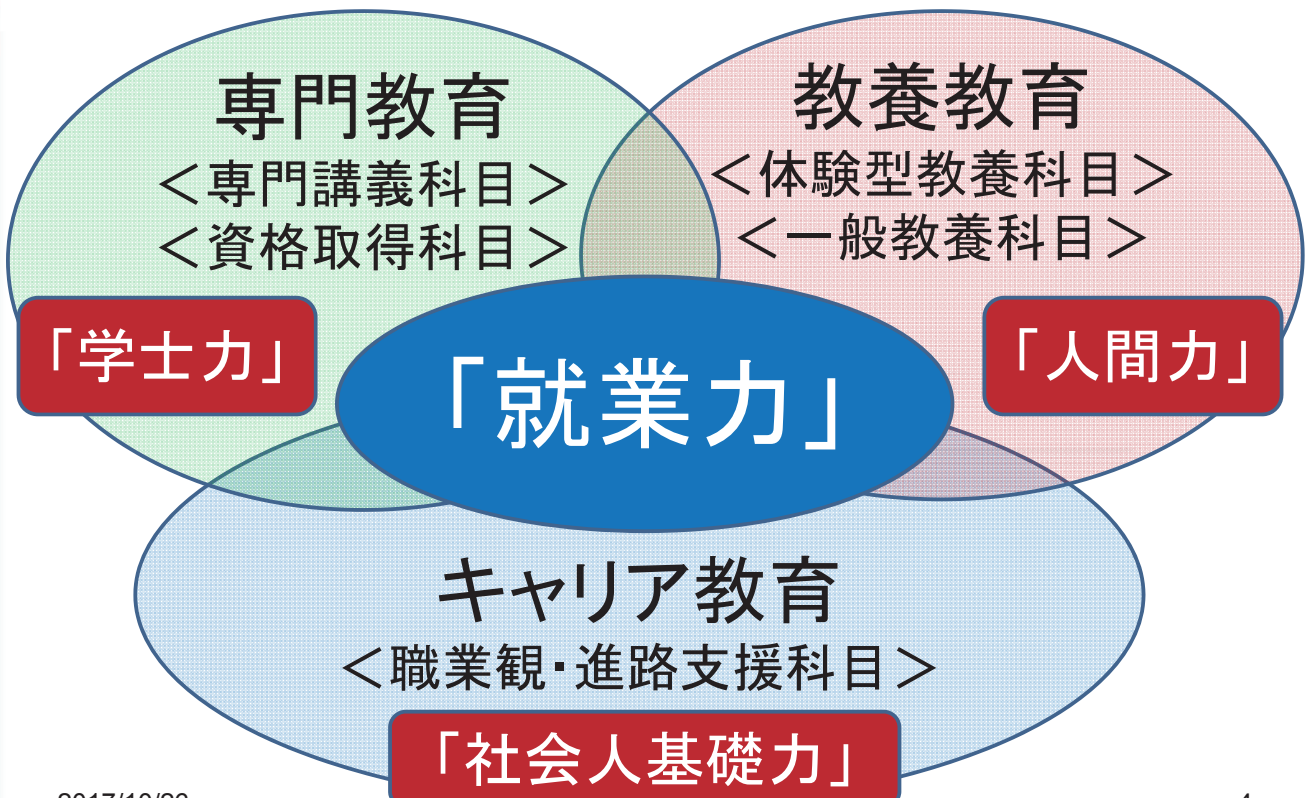
＜ユニバーサル・アクセス＞

- * 誰もが高等教育を受ける「機会」を保証されている状態

→ より多くの人が高教育を通して知識・技能を高められる状態

社会が複雑化し、高等教育（大学・短大教育）が必要な時代
ユニバーサル段階に対応した教育手法の開発が必要な時代

大学・短大における「広義のキャリア教育」



2. 先進国経済への移行と社会の変化

＜発展途上国経済＞

- * 「良いものを安く」
- * 高度経済成長
- * 企業の成長・大企業化
- * 低所得と所得の上昇

* 経済的に豊かに！

- ・進学率の上昇
- ・知識中心の教育
- ・最先端の科学技術の修得
- ・中流意識の浸透

転換

＜先進国経済＞

- * 「研究・開発」「工夫・改善」
- * 低成長経済
- * 企業寿命の短期化
- * 高所得と頭打ちの所得

* 精神的に豊かに？

- ・誰もが受ける高等教育
- ・能力中心の教育
- ・「就業力」の育成
- ・所得格差の拡大

目的意識の形成、選択する力・就学意欲の向上

2017/10/26

5

先進国になるとは？ = 労働力の国際競争激化

常に变化する「可変社会」での労働

- * 産業構造の転換：無くなる仕事、残る仕事、生まれる仕事
- * 職場・職種・労働条件等の変化に対応することが求められる

企業寿命の短期化と企業の研修能力低下

- * 「就社」から「就職」への価値観の転換、
- * 「学びながら生きる」「常に能力」を高める：価値観の転換

相対的に高い賃金に見合った労働が求められる

- * 「研究・開発」「工夫・改善」：専門的・知識集約的な仕事
- * 高等教育に対する需要増（ユニバーサルアクセス）

国際分業の加速＜人も仕事も海外へ＞

- * 企業の海外進出・アウトソーシング
- * 単純作業はコスト優位な国々へ、専門的・知的作業は国内で

2017/10/26

6

3. 経済のグローバル化と多文化共生社会

＜グローバル化の意味＞

「グローバル化とは、つまり利益を上げるために活動に移転させるということ」＝労働力移動も加速

(レスター・C・サロー『知識資本主義』ダイヤモンド社2004年、113ページ)

グローバル化により起きる現象 → <価格標準化現象>

国家間賃金格差の縮小・・・国家内賃金格差の拡大

* 1990年代以降の国際労働市場 → 「日本語の壁」がない世界

冷戦構造の崩壊



ICT: AI(人工知能)

グローバル化の進展＝「労働力」の国際競争が始まる

2017/10/26

7

少子高齢化社会と労働生産性・労働参加率

$$Y/P = Y/N * N/P$$

Y:国民所得、N:雇用量、P:人口

Y/P: 人口一人あたりの国民所得(＝生活水準)

Y/N: 雇用量一人あたり国民所得(＝労働生産性)

N/P: 人口に対する雇用量割合(＝労働参加率)

労働者雇用量の増加: 雇用形態の弾力化

労働生産性の向上が必要
労働参加率の引き上げが必要

教育改革
働き方改革

2017/10/26

8

日本社会の変容と松商短期大学部の教学改革

・「ユニバーサル・アクセス」に対応した教育:「地域の教育力」の活用

* 地域社会での短大の役割

(平成15年度 特色GP)「多チャンネルを通して培う地域社会との連携」

* 地域課題の解決における地域社会との連携—治療から予防へ—

(平成20年度 学生支援GP)「元気なキャンパスをつくり出す仕掛けの創出」

* キャリア教育の展開

(平成18年度 教育GP)「キャリア教育をベースとした課程教育の取組」

(平成21年度)「産学連携・卒業生連携と就職ゼミによる支援体制の強化を目指して」

・「先進国経済」に対応した教育:「主体的な学び」と「能力開発」を意図した改革

* 主体的な学びの前提である目的意識の形成

(平成18年度 特色GP)「キャリア教育をベースとした課程教育の展開」

* コンピテンス(ジェネリック・スキル)の育成

(平成21年度 教育GP)「メモ力育成を核とした単位制度実質化の取組」

(平成28年度 APテーマV)「卒業時における質保証の取組の強化」

・「少子化」と「グローバル化(多文化共生社会)」に対応した教育

* 4学期制導入とグローバル・コンピテンスの育成

(平成21年度 教育GP)「メモ力育成を核とした単位制度実質化の取組」

(平成28年度 APテーマV)「卒業時における質保証の取組の強化」

2017/10/26

9

(2) 1990年代以降の教学改革

1. 「地域の教育力」の活用
2. 「フィールド・ユニット制」の導入
3. 「コンピテンス育成教育」の導入

<キーワード>

「地域の教育力」の活用、考房“ゆめ”の活動、目的意識の形成、
教養教育の充実、人生観に裏打ちされ職業観の育成、
キャリア教育、入学前教育、就業力(雇ってもらえる力)の育成
振り返り学修、学修ポートフォリオ、コンピテンス育成教育、

2017/10/26

10

1. 「地域の教育力」の活用

活用力・応用力・発想力・考える力・乗り越える力等の育成：「知識から智慧へ」

＜学校内教育活動＞
勉強することの意味を考える
授業をキャリア教育の視点から見
直す＜参加型・双方向型授業等＞

- ＜授業等＞
- ・「知識・技能」の習得
 - ・「汎用的能力」の育成
 - ・「個性」の形成

- ＜部活動等＞
- ・「人間関係構築能力」の育成
 - ・「汎用的能力」の育成
 - ・「個性」の形成

両者をつなぐ
「仕組み」が必要
・アウトキャンパス・スタディ
・インターンシップ
・ボランティア
・海外留学

＜学校外教育活動＞
生きる時代・場所を理解する
地域社会（家庭・企業・行政等）が
連携して「人を育てる」視点を持つ

- ＜「地域の教育力」の活用等＞
- ・「社会力」（人間関係能力）の育成
 - ・「自己肯定観」「有用観」の形成
 - ・「社会マナー・ルール」の理解
 - ・「権利・義務」意識の形成
 - ・「自由・責任」意識の形成
 - ・「対応能力」と「改善能力」の育成

「修学意欲」「労働力の質」の向上

「職業意識」「労働参加率」の向上

目的意識の形成：「勉強する意味」「集団での役割」「働き、生きること」を考える

2. 「フィールド・ユニット制」の導入

フィールド・ユニット制がキリウム

60年の伝統

社会的評価 = 「松商ブランド」
「簿記とパソコンができる」

基本フィールド

松商ブランド形成フィールド

オプション・フィールド

①
松商ブランド
基礎フィールド

基礎簿記

Word

Excel

English

中国語

ハンゲル

②
経理会計
フィールド

③
情報専門
フィールド

④
経済・金融
フィールド

⑤
経営・法律
フィールド

⑥
国際コミュニ
ケーションフ
ィールド

⑦
研究活動
(ゼミナール)
フィールド

⑧
進路支援
フィールド

⑨
医療事務
フィールド

⑩
図書館司書
フィールド

⑪
ファッション
ビジネス
フィールド

⑫
芸術と文化
フィールド

⑬
フライダル
フィールド

⑭
心とこども・
福祉
フィールド

⑮
介護
(旧ホームヘルパー)
フィールド

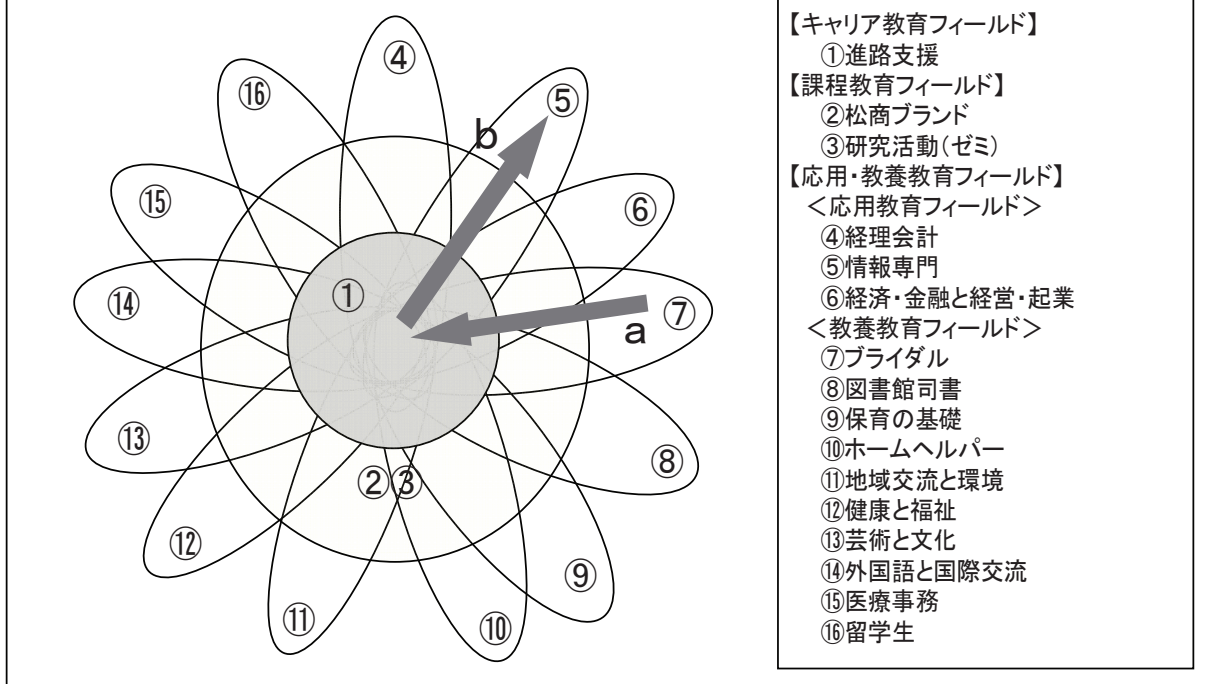
⑯
スポーツ・健康
フィールド

選択必修科目



高校生の「夢」と現実のギャップを埋めるフィールド・ユニット制

図1 キャリア教育をベースとした課程教育の概念図(H17年度)

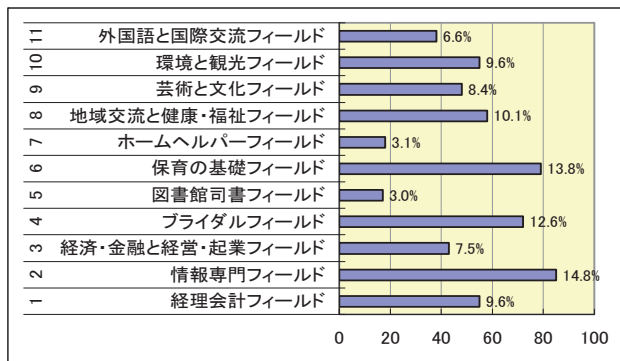


2017/10/26

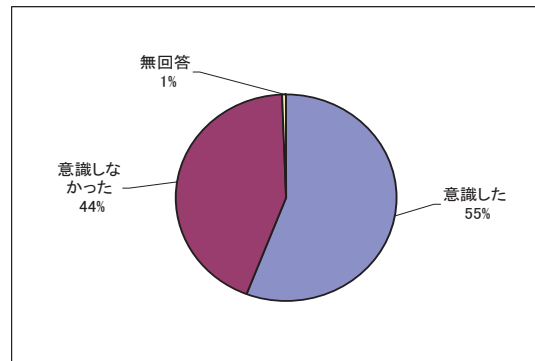
13

履修に関する学生アンケート

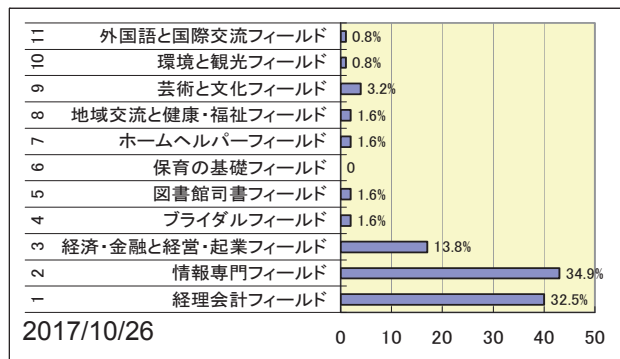
①1年次のフィールド開講科目1科目に対する履修者の割合



②2年次に進路を意識してフィールドを履修した者の割合

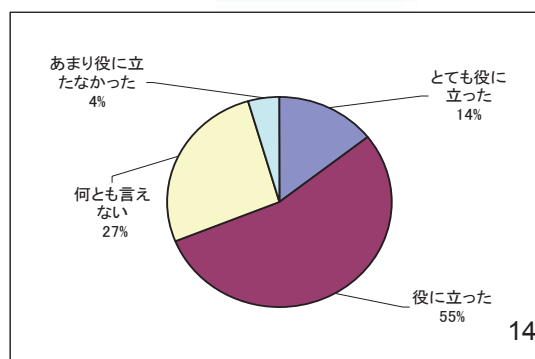


③2年次に進路を意識して履修したフィールド



2017/10/26

④就職活動や進路を決定する際に履修フィールドが役立った割合



14

3. 「コンピテンス育成教育」の導入

コンピテンス(汎用的能力)育成=キャリア教育

＜企業が求める知識・技能＞

積極性、向上心、問題発見・解決能力、
応用力、コミュニケーション能力(傾聴力)、
メンター・ファシリテーターとしての能力

＜汎用的能力＞

メモ力、質問力、文章力、理解力、
情報収集能力、整理力、分析力、
判断力、論理的思考

各科目に応じた
知識・技能

自分らしい手法の発見

個性の形成と自己理解

「勉強すること」から「働くこと」へ＝「活用する力」

「勉強すること」＝「内容理解・知識の習得」

「勉強すること」＝「コンピテンスの育成」

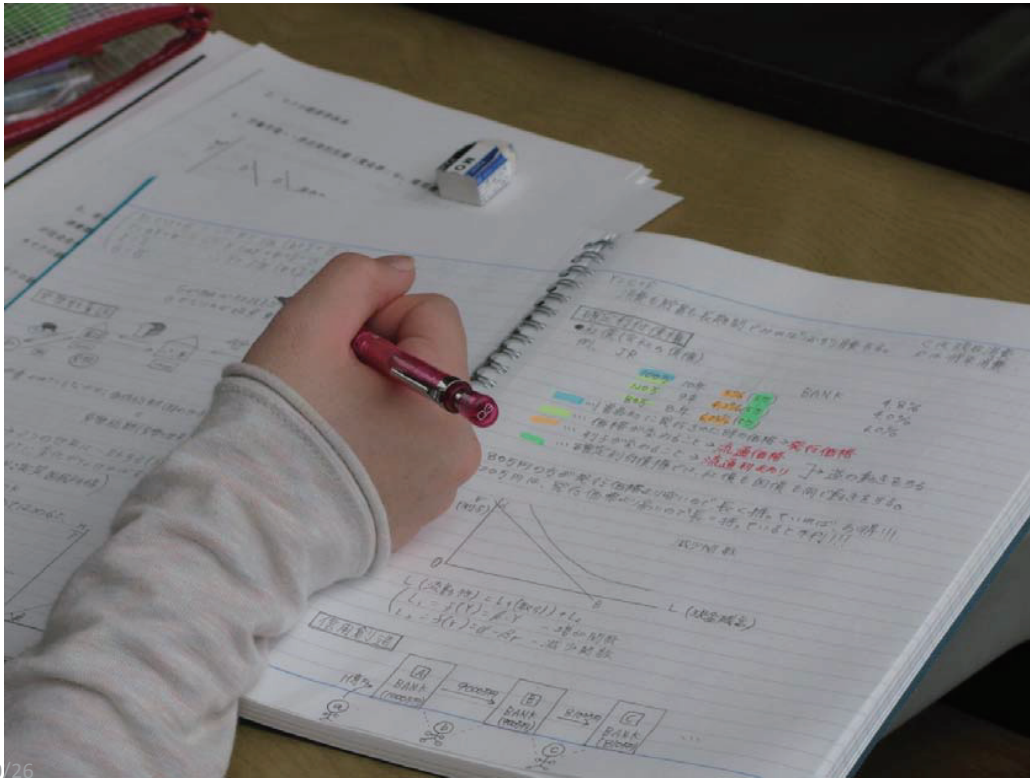
「勉強すること」＝「個性の形成：自己認識」

主体的な学びと活用する力の育成

自分を理解し、能力(コンピテンス)を高める

高等教育の変容：「勉強する」＝「労働力の質を高める」

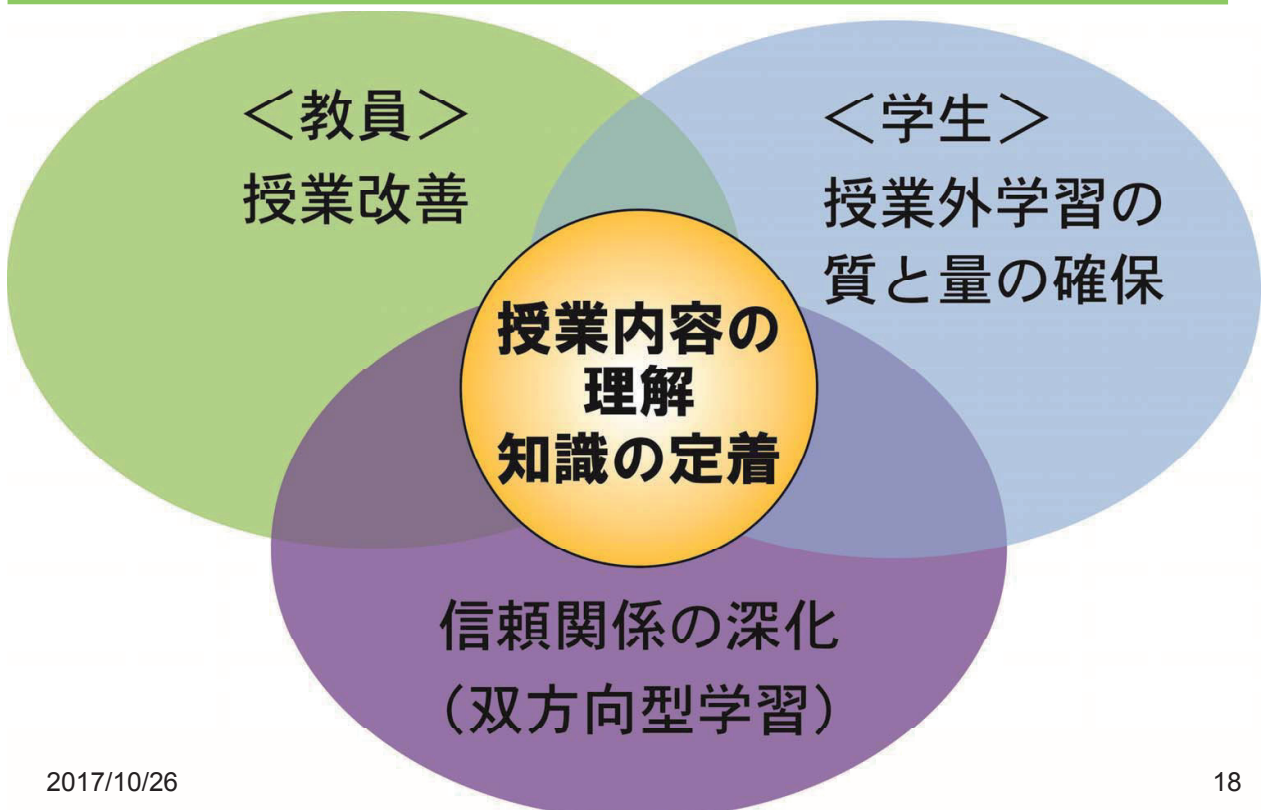
「メモ力」育成～「出席レポート」の取り組み～



2017/10/26

17

1) 単位制度実質化の意味



2017/10/26

18

①本取組の考え方

意味・目的

単位制度の実質化

学生と教員の良好な信頼関係の深化
 教員の授業改善
 学生の十分な授業外学習時間の質と量の確保
 授業内容の理解を促し、知識の定着を図る

取組

「出席レポート」・携帯メモ帳『EYE』(Edit Your Everyday)
 双方向型学習の推進 ・ 授業外学習時間の確保 ・ FD活動の推進

<「メモ力」育成>

2017/10/26

19

②「メモ力(メモを取る力)」育成の取組(平成20年度)

「メモ力」に含まれる要素

「話者の話を集中して聴く態度」
 「主体的・能動的態度」
 「話しの内容の本質を理解する能力」
 「情報を理解し、取捨選択する能力」

← 態度の活用

← 能力の育成

* メモをとることは、間違い、失敗をなくし、より良い人間関係を構築するのに有効。

* メモをとることを短大2年間で励行し、習慣づけを行う。
 * 専門教育・教養教育でもメモ力を活用。



就職説明会にて
 就職手帳『M』に
 メモをとる学生

2017/10/26

20

経済の基礎	第3回	学籍	
糸井重夫	4月23日(経)	09m0	

テーマ) 労働市場分析: 自発的失業と非自発的失業

① 価格調整と数量調整

1円が1円100円と均衡していたのが500円にまで上がった。お客さんは誰も買わないので売れ残ってしまう。だからお客さんに値段を下げる様に。今度1円を100円と売れば、と売ってはいくらも無くなるので売れ残りを減らすために100円にする。← 売りたい値段より高い景気が最速な方法に調整される。 (価格調整×2=数量調整)

★ 価格調整と数量調整 ★

②X) 1の家族は100人従業員がいる。人に20万支給している。ところが景気が悪いので20万支給できなくなる。従業員100人の給与は19万に下がる。← "価格調整"

次に数量調整では従業員をカットして20万支給しようとする。500円に下げると数量調整も

(W=賃金, P=物価, M=実質賃金, W/P=名目賃金) **労働相場の存在は?**

非自発的失業

働きたいのに雇ってもらえない状態の人達。違う企業に行きたくても雇ってもらえない状態の人達。 (景気が良い時は非自発的失業者は少ない)

自発的失業

給料が低くなったので雇ってもらいたくない人達。

景気をよくするために

Y=C+I+G+NX-M

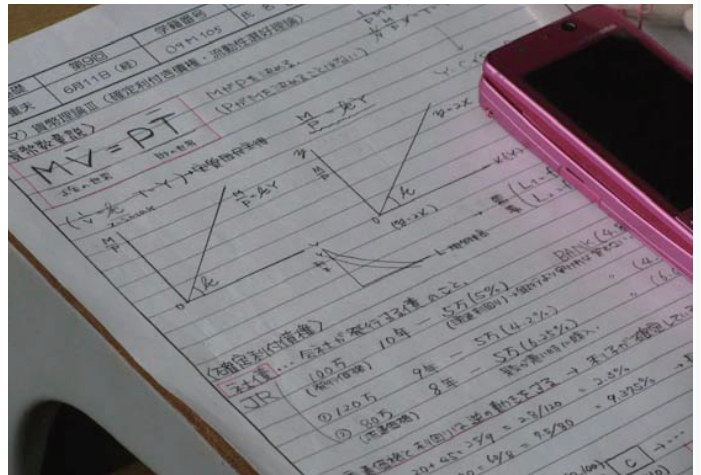
Y=C+I+G+NX-M

Y=C+I+G+NX-M

コメント: 経済の授業は難しい。2つの必要に必要に応じて理解が深まる。自己評価

2017/10/26

21



経済の基礎	6月6日	学籍	
糸井重夫		08C	

テーマ) 有効需要の原理 (4.5線分析)

◆ 三面等価の原理

国民所得統計はその国の経済の国民の所得水準を知るための統計指標であり、生産国民所得、分配国民所得、支出国民所得の3つの局面から統計されている。国民所得は一回内、一年間に生産された付加価値の合計額であり、この金額は見かけ上と実質における取引を通じて実現された価値である。家計と企業が実際に支払った額と等しい。また、国民所得と資本家に付与の利益とに等しい。国民所得の三面等価の原理という。

◆ 有効需要の原理

$Y=C+I$... 需要の決定を決定する (有効需要の原理 20c. ケインズ)

供給の決定を決定する (セインズ 10c)

20c. ケインズ

労働者が賃金を向上させると所得が増加すると貯蓄も増加すると労働力は経済的に豊かになり高付価値商品が売れるようになる。そのため企業はより多くの労働者を雇う。一方賃金が上がると粗利が下がる。なので、売れ残りを減らすために需要を作り出すようにする。需要の決定を決定する。

Y=C+I

C=aY+b

I=I

(0<a<1)

(0<b<1)

投資の増加はYを増加させる

投資の増加はYを増加させる

投資の増加はYを増加させる

コメント: いろいろに決まってくる。<財政支出の効果が>

経済は自動的に均衡する。心理的な(意図的)な調整をする。自己評価

2017/10/26

経済の基礎	6月13日	学籍	
糸井重夫		08C	

テーマ) 財政政策の有効性 (公共投資政策と租税政策)

労働市場において需要曲線が左へシフトすると、非自発的失業が増加して(MP→M')

GDPがYからY'へ増加する

労働市場の調整は生産能力を維持している。政府(G)が介入することでGDPを上げようとする。(Y=C+I+Gという式) Y'よりY'が増加する。

<財政政策>

財政政策には2つの方法がある。それは政府支出政策と租税政策である。

政府支出政策の主なものは公共投資である。限定的消費傾向が0.8なら、利率は5%なら、政府が1億投資すればYは1億増えることになる。つまり政府が1億投資すればYは1億増えることになる。つまり政府が1億投資すればYは1億増えることになる。

租税政策は、税率を上げることで、消費能力が低下する。つまり、税率を上げることで、消費能力が低下する。つまり、税率を上げることで、消費能力が低下する。

Y=C+I+G

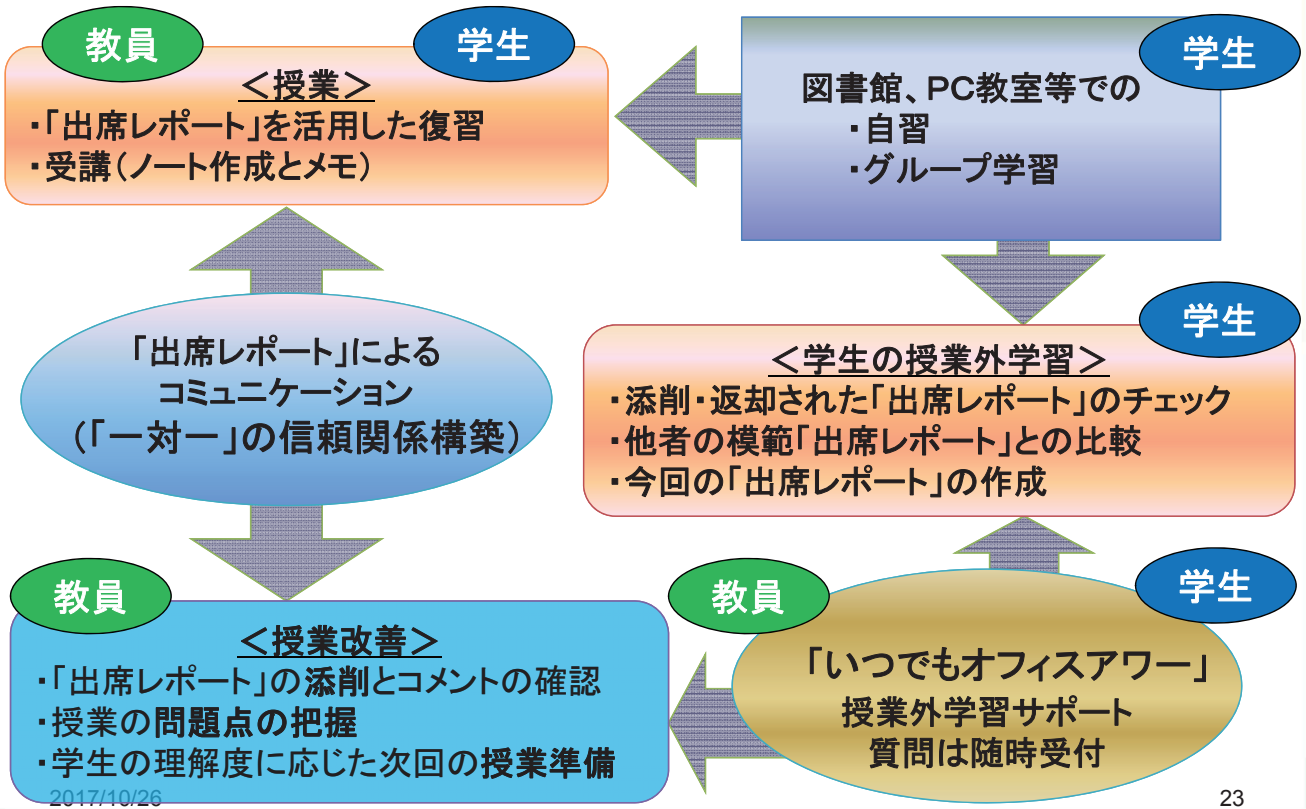
Y=C+I+G

Y=C+I+G

コメント: Y=C+I+G=40+10+5=55, Y=28.5になる。自己評価

22

3)「出席レポート」を活用した教員による学習サポート



4)「出席レポート」による能力の向上

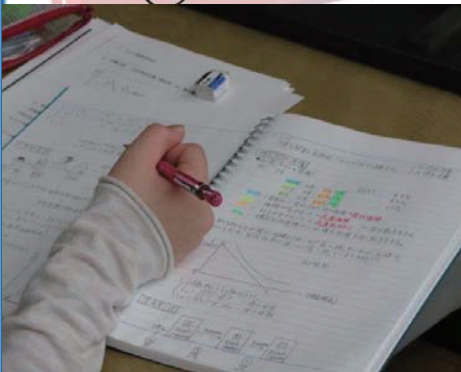


「出席レポート」作成作業を繰り返すことで能力向上を図る

5)「出席レポート」の有効性

単位実質化に対する有効性

- ① 授業外学習時間の増加
- ② 試験での得点上昇
- ③ 学修ポートフォリオの作成
- ④ 授業改善の促進



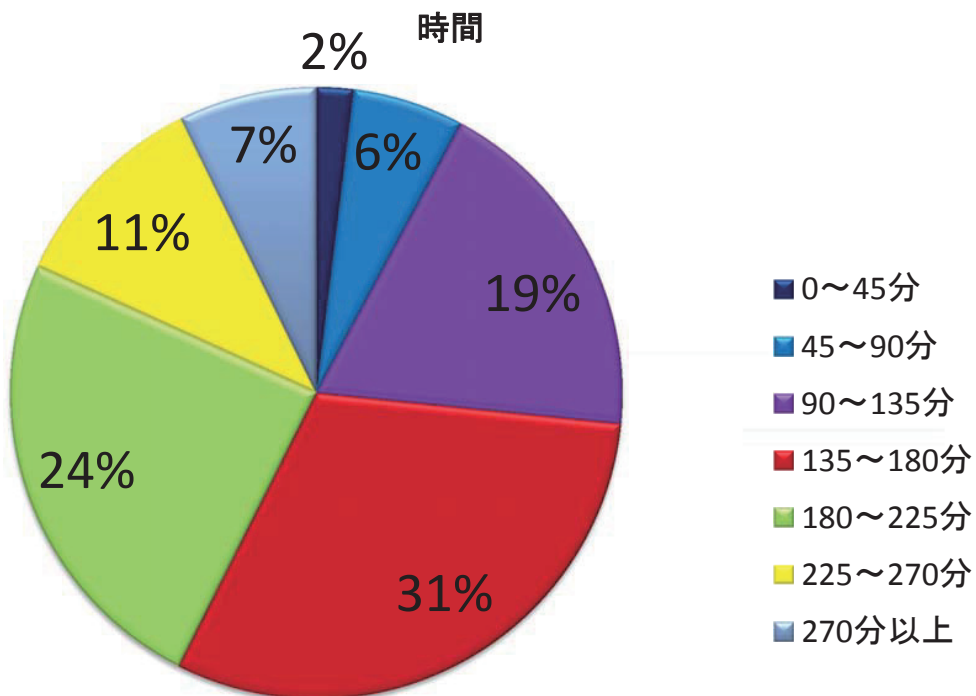
2017/10/26

副次的有効性

- ① 図書館利用の増加
- ② 教員への質問の増加
- ③ 様々なコンピテンス育成の促進
- ④ グループ学習等の学習する雰囲気形成
- ⑤ インターネットの活用と検索の増加

25

取組による効果(1) 学習時間



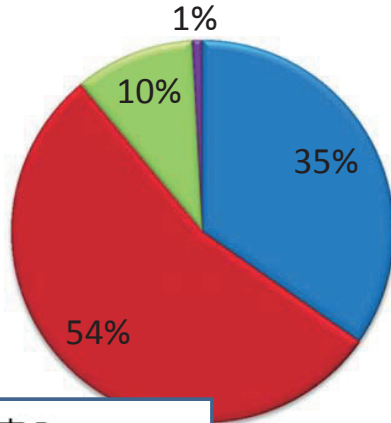
2017/10/26

※本取組の3科目について、1週間の合計学習時間

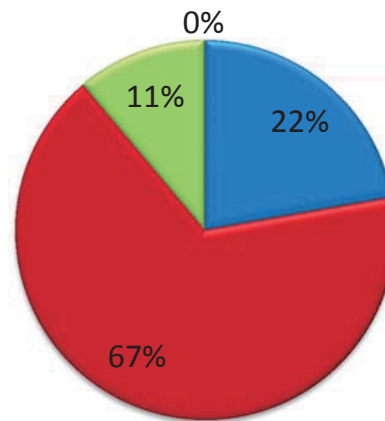
26

取組による効果(2) 授業理解

授業中のノート、メモは「出席レポート」等の作成に役に立つか



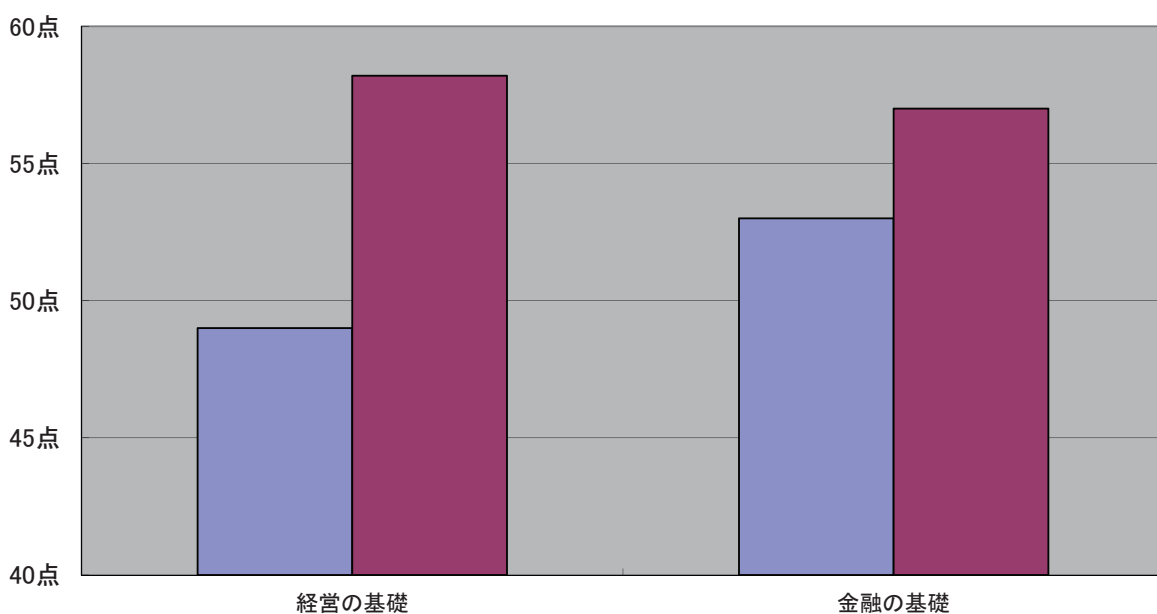
「出席レポート」等の作成は、授業内容の理解に役立つか



- 大変役立つ
- 役に立つ
- あまり役に立たない
- 全く役に立たない

27

取組による効果(3) 試験成績

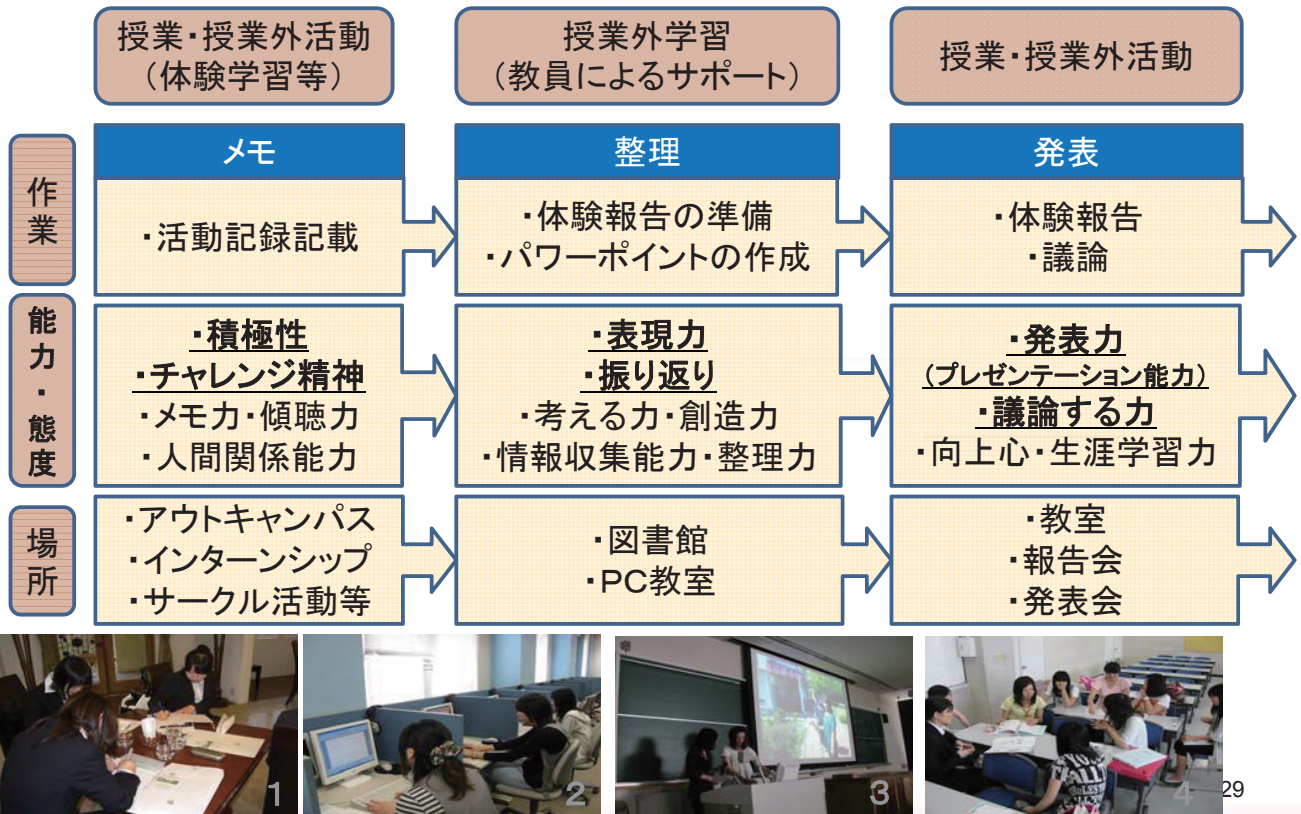


- 「出席レポート」なし
- 「出席レポート」あり

2017/10/26

28

6)様々な場面でのコンピテンスの育成



(3) 教学改革におけるAP事業の位置づけ

1. 評価手法・評価体制の整備と主体的な学修の促進
2. 観点別評価手法の開発と評価の実施
3. 松商短大の教育改革・大学改革の方向性

<キーワード>

主体的な学修、4学期制導入、多様なコンピテンス育成、
e-ポートフォリオ、「ディプロマ・サプリメント」、卒業時の質保証
グローバル・コンピテンス、異文化理解

1. 評価手法・評価体制の整備と主体的な学修の促進

比較可能性の向上
客観化による自己分析
生涯学習力の育成

卒業時の質保証の強化
個々の学生の多面的な評価
「ディプロマ・サプリメント」

知識：成績証明書
技術：検定・資格取得
能力：コンピテンス

実践から評価へ

教育手法の改善
①コンピテンスの育成
メモカ育成の取り組み
「出席レポート」
アクティブ・ラーニング
②評価体制の構築
パフォーマンス評価
「ルーブリック」

自主独立
・
知識の修得
技術の向上
能力開発
(コンピテンス育成)
・
キャリア教育
入学前教育

体制整備から評価・強化へ

教育体制の改善
①カリキュラム改革
目的意識の形成：「フィールド・ユニット制」
②学年暦の見直し
集中的な学び：4学期制の導入
海外留学：グローバル・コンピテンス
長期インターンシップ：ジェネリック・スキル
ボランティア活動：シチズンシップ

高大接続改革：入試改革

2017/10/26

31

*「学修ポートフォリオ」や「ルーブリック」による学修成果の可視化を通して、自分の技術・能力の成長を把握し、「コンピテンス配分表」を参考にして、PDCAサイクルを回しつつ主体的に学修を進める環境を整備する。また、卒業時に学修成果として「ディプロマ・サプリメント」を発行することで、修得した技術・能力を客観的に評価する仕組みを構築し、普及させる。
*さらに、PDCAサイクルを回しながら、「コンピテンス育成」に着目した本学の教育改革を着実に進め、本学の教育の質保証の観点から、同窓会を通じた地元企業などと協力して評価と助言を得る体制を構築する。

評価・助言体制

「外部評価委員会」(本申請事業の検証・評価)

「自己点検評価委員会」(常設学内組織)

「外部評価・助言委員会」(同窓会・協定大学・高大接続事業実施高校の3者による外部評価や助言を求める常設組織)

④履修(A: Action)

アカデミック・アドバイザー
〈ゼミ担当教員〉

・主体的な学修の推進
「学修ポートフォリオ」や「ルーブリック」等による学修成果の可視化を通して、次学期の学修目標の設定

「コンピテンス配分表」

コア・コンピテンスの育成を意識した履修

本学の教育で育成されるコンピテンスを一覧にした「コンピテンス表」から、「ルーブリック」で使用する5〜8項目のコア・コンピテンスを選定し、各科目で育成されるコア・コンピテンスを示した表

①履修(P: Plan)

アカデミック・アドバイザー
〈ゼミ担当教員〉

「コンピテンス配分表」による履修相談

科目/学修成果	コア・コンピテンス		
	A	B	C
経済学	○		
金融論		○	○
マーケティング		○	
経営学	○		
日本経済論		○	○

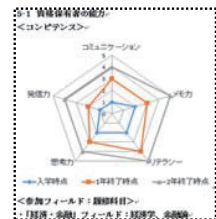
社会に対する学修成果の提示

「ディプロマ・サプリメント」

取得学位・資格の追加情報・学修成果の提示

〈レーダーチャート〉

・「資格・検定」
・「コア・コンピテンス」
半年ごとの学修成果を表示することで、自分の成長を把握し、学修を進め、卒業時に社会に対して提示
〈文書による説明〉
学位に関する学生個々の技能や追加情報の記載



〈学修成果の可視化〉

「学修ポートフォリオ」
「e-ポートフォリオ」

・「出席レポート」: 学修内容の整理
・学修支援システム: 確認テスト、資料配付
・反転授業: 授業時間のアクティブ化

〈多様な評価: 指標の共通化〉

「ルーブリック」・「検定・資格」

「自分は何ができるようになったのか」を学生自身が客観的に把握できる指標として、「ルーブリック」と各種の「検定・資格」を活用。自分の学修成果を確認する。

〈指標による自己評価〉

・チェックシートによる自己評価
・シラバス、「学修ポートフォリオ」等

〈4学期制下のアクティブ・ラーニング〉

・海外研修、海外インターンシップ
・長期インターンシップ、ボランティア活動

③評価(C: Check)

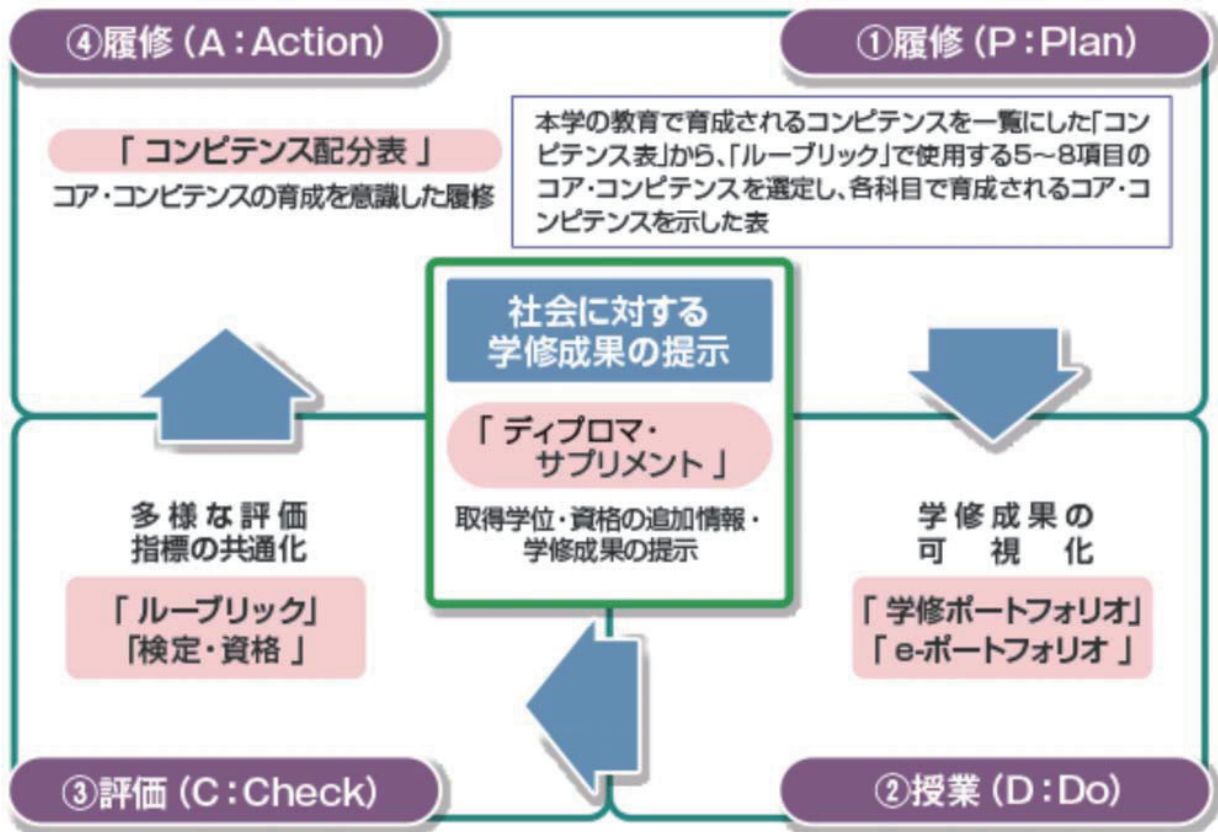
②授業(D: Do)

5段階成績評価分布・GPA平均値の公表: <目的> 成績評価の厳格化による教育の質向上

4学期制(クォーター制)導入: <目的> 資格・検定試験に向けた集中学修、海外研修等の学外長期プログラムの実施

2017/10/26

32



2017/10/26

33

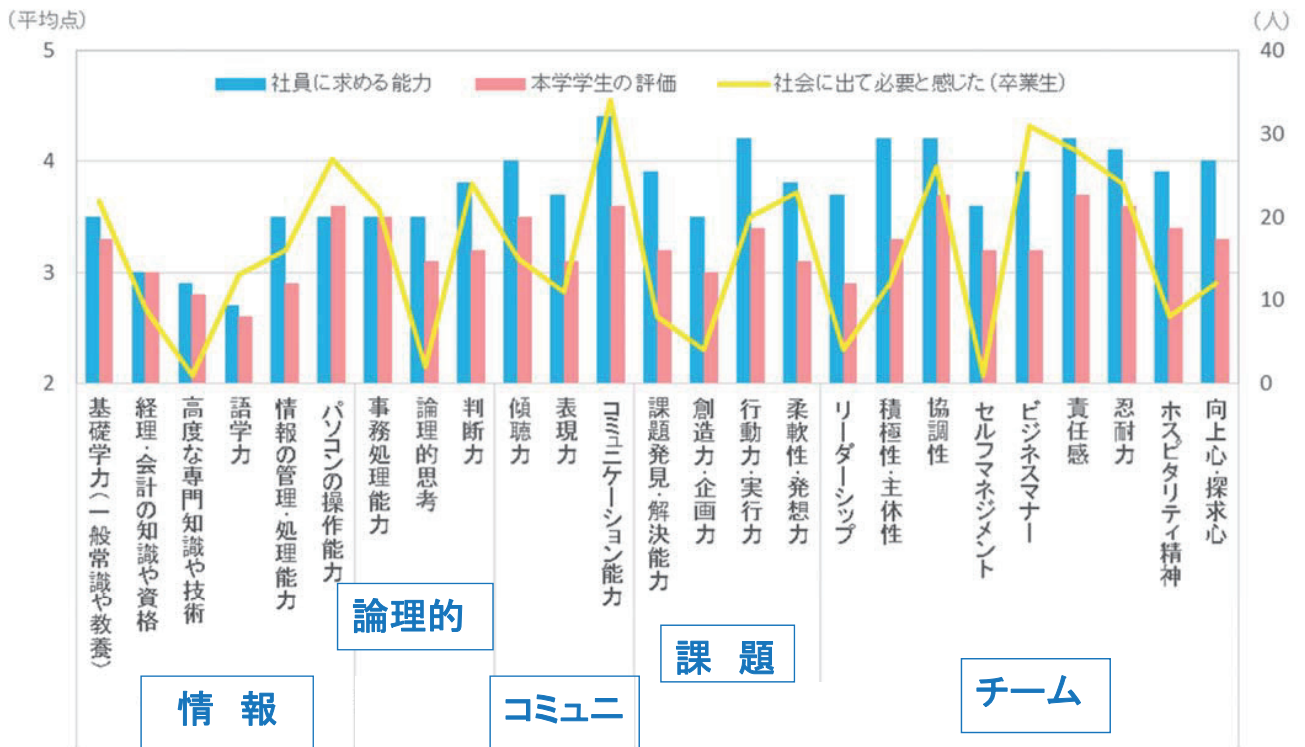
2. 観点別評価手法の開発と評価の実施

- * 「コンピテンス表」の作成
- * コア・コンピテンスの抽出
 - ・ 情報リテラシー、論理的思考力、コミュニケーション力
 - ・ 課題解決能力、チームで働く力
- * 観点別評価表（「ルーブリック」）の作成
- * 「コンピテンス配分表」の作成
- * 評価対象プログラム（適切な課題）の作成
- * 「ルーブリック」評価の実施
- * 「ルーブリック」評価の検証
- * 評価対象プログラム（課題）の改善・研究

2017/10/26

34

企業および卒業生アンケート結果



2017/10/26

55

松本大学松商短期大学部
ディプロマ・サブリメント(案)

Sample (本資料は一部抜粋です)
本ディプロマ・サブリメントに関する詳細情報は、3ページ以降に示している

1. 学位・資格の取得者に関する情報 (資格保有者)

1.1 姓: 尚短
1.2 名: 一子
1.3 生年月日(西暦): 1998/5/26
1.4 国籍: 日本
1.5 在学時学籍番号: 17CorM999

2. 学位・資格の基本情報 (資格)

2.1 学位: 短期大学士
2.2 獲得称号: 商学 or 経営情報学
2.3 授与機関の名称: 松本大学松商短期大学部
2.4 教育/学修において使用する言語: 日本語

2.5 資格・検定

	入学時	1年終了時	卒業時
簿記	日商3級	日商簿2級 全簿3級	日商2級
Word	なし	ビジネス文書 2級	ビジネス文書 2級
Excel	表計算 3級	表計算 2級	表計算 2級
英語	TOEIC: Bridge 124点	TOEIC: Bridge 148点	TOEIC: Bridge 172点
秘書	なし	秘書検定 不合格	秘書検定 3級

2.6 コンビテンシー

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
情報リテラシー	2	2.8	2.5	3
論理的思考力	1	1.2	3	2.5
コミュニケーション力	0.5	2	2.8	4
課題解決能力	1	2.2	2.5	3.2
チームで働く力	0.5	0.5	1	2

3. 学位に関する情報

3.1 履修形態: 一般学生 (Full Time)

3.2 卒業要件

3.3 成績を補足する情報

3.4 正課外活動

4. プログラム(課程)内容と学修成果に関する情報

4.1 GPA制度について

4.2 資格・検定のポイントについて

4.3 コンビテンシーの採点方法について

5. ディプロマ・サブリメントの発行に関する情報

松本大学松商短期大学部
学長 住吉 廣行 印

2017/10/26

36

3. 松商短大の教育改革・大学改革の方向性

新たな時代に対応した教育手法・教育システムが必要：授業改善と学生支援

修得する教育から活用する教育へ・・・受動的な学修から能動的(主体的)な学修へ

多面的な学生の知識・技術・能力の把握・・・直接評価と間接評価の充実

グローバル化に対応した高等教育の質保証・・・内部質保証と外部質保証

入学前から卒業後までの学生情報の把握と支援・・・IR・EM活動の充実



大学教育の質的転換

主体的・能動的学修、アクティブラーニング、パフォーマンス評価、観点別評価、ルーブリック、直接評価(テスト、ルーブリックなど)、間接評価(学生アンケート、GPA、企業アンケートなど)ディプロマサプリメント、内部質保証、入試改革、高大接続・連携、企業連携、外部評価など

学内のグローバル化、4学期制による外国留学・内地留学、ジョイント・ディグリー等

2017/10/26

37

ご清聴ありがとうございました

2017/10/26

38